

## 岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 江口 健治郎

学校住所 可児市中恵土2358の1 電話 0574-62-1185

- 1 会議の名称** 平成26年度可児工業高等学校学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成**
- |     |        |                |
|-----|--------|----------------|
| 委 員 | 石原 里佳  | 元PTA役員、会社役員    |
|     | 菊池 美智留 | 可児市青少年育成アドバイザー |
|     | 小池 實   | 可児市中恵土自治会連合会長  |
|     | 林 善彦   | 可児市下恵土自治会連合会長  |
|     | 藤田 幸夫  | (株)甲山製作所社長     |
- (委員名五十音順)

学 校 側	江口 健治郎	校長
	若尾 泰明	教頭
	伊佐治 敬二	事務長
	土田 公成	教諭（教務部長）
	伏見 圭太	教諭（生徒指導部長）
	水野 茂之	教諭（進路指導部長）
	竹ノ内 秀樹	教諭（工業部長）
	兼松 竹司	教諭（部活動推進部長）

- 3 会議の目的** 岐阜県立可児工業高等学校の教育方針・重点及び学校課題を説明し、それについての幅広い意見・提言を受け本校教育の改善・充実に資するとともに、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成26年7月15日（火）10:00～12:15 可児工業高等学校校長室  
委員4名、学校側7名、計11名が出席

### 5 会議の概要

#### (1) 教頭挨拶

第2次岐阜県教育ビジョンのもと可茂地区唯一の工業高校として、地域社会から期待される人材の育成に取り組んでいる。評議員の皆様から地域や社会の意見を直接お聞きし、さらに信頼される学校づくりを目指したい。

#### (2) 学校の近況と課題の説明

教 務 部：チャレンジタイム（朝補習10分間）を月・水・金曜日に1年生は数学、2年生は英語、3年生はSPIを実施している。2年生の進学系が火・木曜日に7限目の授業を行っている。グローバル教育として昨年度姉妹提携したオーストラリアの高校と具体的な交流が始まる。

生徒指導部：全体的には落ち着いた学校生活を送っている。「時間とルールを守る」を指導目標に掲げ、中でも遅刻防止を重点に指導したところ減少した。ネットへの書き込みによるトラブル防止にも取り組んでいる。心豊かな工業高校生を育成したい。

進路指導部：県内企業への就職者が60%を超えた。求人については、現在のところ前年比で1.3倍になっている。本年度の県内就職希望者は、70%を超えている。国公立大学に入学できるよう進学指導に力を入れている。

工業部：各事業で、企業との連携、地域との連携、特別支援学校との交流を通してコミュニケーション能力を向上させたい。各種イベントへの積極的な参加により、地域との交流や地域貢献を図りたい。

部活動推進部：休日でも多くの部活動が活発に活動するようになった。遠方から本校の部活動に魅力を感じ入学する生徒もいる。東海大会出場など良い成績をあげている。ボランティア活動も行い、企業から求められる生徒を育成する。

意見 部活動では、先輩・後輩の上下関係を大切にしたい。

### (3) 授業参観

第3限の普通科目を中心とした座学や、機械科3年生の実習導入時の整列状況や実習を参観。

### (4) 協議

テーマ1「授業参観の感想や本年度の教育活動について」

意見 1 校内はどこを見ても綺麗で、整理整頓がなされている。地域においても生徒さん達はよく挨拶してくれる。

意見 2 服装や整列状況がしっかりしている。指導者の人数が多いことがわかった。製作物を見たとき、高校生でこのような素晴らしいものづくりができるのかと驚いた。

意見 3 今の工業高校は指導の内容や幅広さに苦勞も多いと思うが、学校目標や方針を明確にし、達成目標を意識した取り組みが重要だと思う。

意見 4 遅刻防止やスマホの指導がなされているとのこと、社会人としても大切なことなので継続していただきたい。イベントに積極的に参加して可児工業の良さをアピールして欲しい。ものづくりの面白さや楽しさも教えていただきたい。部活動で人間関係も学んで欲しい。

意見 5 土足なのにいつも学校内が綺麗である。資格は一生ものなので、一つでも多くとれるように指導をお願いしたい。

テーマ2「本校に期待すること」

意見 1 小さい子から可児工業高校が魅力のある学校であると認められるように、地域イベントに多く参加し、製作した電車への乗車体験や工業技術の体験学習などができるようにするとよい。

意見 2 これからの生徒は英会話ができるとうい。専門用語だけでも英語で言えるよう指導する必要がある。

意見 3 高齢化が進む中、地元就職希望者が多いことは嬉しい。地元で力を発揮して欲しい。魅力ある可児市の母体は、可児工業高校である。

意見 4 躰、技術・技能、社会でのルールを身に付けることが大切である。

意見 5 イベントに積極的に参加して欲しい。参加することで、地域内に可児工業高校の名前が浸透し、話題にもなる。

意見 6 イベントで地域活動ができるのはよいが、マンネリ化しないようにする。

## 6 会議のまとめ

- ・本校に対する地域からの期待は大きく、地域との連携は今後も継続したい。生徒達に学習活動の目的や意義を明確に示し、一人一人にやり甲斐を持たせ自信に繋げたい。
- ・今後さらに魅力ある可児工業高校となるように、企業や地域と連携し本校の良さを広めることに努めたい。